

# 行 政 報 告

第3回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、財政関係について申し上げます。

本年度の普通交付税交付額は、7月31日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額28億2,137万8千円から基準財政収入額6億9,253万9千円、調整額144万1千円を控除した21億2,739万8千円が交付額となり、前年度と比較し、3.3%、6,825万1千円の増額となりました。

次に、防災対策について申し上げます。

今年度の防災訓練は、地震や津波、土砂災害をテーマとした「防災出前講座」を高齢者交通安全教室と合同で開催し、5月17日の大町地区を皮切りに町内5箇所5地区より97名の参加をいただきました。

また、7月18日には、ふれあいハイム長万部で、入所者など26名の参加をいただき、風水害、土砂災害に係る講話を実施しております。

9月10日には、長万部高等学校で災害講話を、11月22日には、あつまんべで北海道から講師を招き、参加者29名のもと「自主防災組織による地域の防災力強化を目指した研修会」を開催し、防災意識の高揚に努めてまいりました。

防災行政無線の関係では、送信局などの設置工事も順調に進み、来年1月からの町内各家庭を訪問しての防災ラジオ配付に向けた準備を進めているところであります。なお、防災ラジオの戸別配付にあたり、本年6月に議決をいただきました工事請負契約の締結について、本定例会に議決の変更を提案いたしております。

今後とも、防災訓練・集会の開催などを通じて、災害に強いまちづくり、安全・安心のまちづくりを進めてまいります。

## **次に、新型コロナウイルス感染症の対応について申し上げます。**

5月25日、国の緊急事態宣言は解除されましたが、道では、いまだに感染者が確認されている状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に向けた、北海道における取組を策定いたしました。当町の対策本部においてもこれを受け、小中学校、公共施設、町内行事等における感染予防や、感染拡大防止のための対策を進めてきたところであります。

感染予防では、全町民を対象としたマスク無料配布事業は、8月末現在、対象者は5,188人で、配布人数5,119人、98.7%の配布率であります。

## **次に、東京理科大学関係について申し上げます。**

新型コロナウイルス感染症対策による理科大の状況につきましては、今年度予定されていた基礎工学部の長万部キャンパスにおける1年次の全授業日程が見送られておりましたが、来年度からは長万部キャンパスにおいて経営学部国際デザイン経営学科1年生による授業を実施することとしておりました。

しかしながら、現在の新型コロナウイルス感染症は一向に治まる気配も無く、今後も感染症との共存が続く中、大学側としても、感染拡大のリスクから町民と学生及び教職員を守ることを最優先に考えられ、全寮制という生活環境において感染者が発生した場合、長万部キャンパス周辺地域の医療体制に与える影響、学生の福利厚生も含む寮生活を継続するための対応、緊急退去時の学生の移動への対応など、様々な角度から慎重に検討された結果、来年度につきましても、1年間を通しての国際デザイン経営学科の1年次の全寮制教育を長万部キャンパスで行うことは困難であるとの結論に至り、2021年度の利用を見送り、同学科入学生につきましては、神楽坂キャンパスで学修されることとなりました。

なお、2022年度以降の長万部キャンパスでの経営学部国際デザイ

ン経営学科による1年次の全寮制教育に変更は無いとのことであります。

**次に、第4次長万部町まちづくり総合計画及び国土強靱化地域計画について申し上げます。**

第4次長万部町まちづくり総合計画は、現在、各種関連計画の洗い出しを行い、第3次総合計画の見直しなども含め、基本構想と基本計画の骨子を作成作業中であります。

また、このまちづくり総合計画と合わせ、国から求められている国土強靱化地域計画についても総合的な施策であることから、まちづくり総合計画と連動した策定を目指して着手したところであります。

この国土強靱化地域計画は、防災基本計画が地震や洪水などのリスクを特定した対策であるのに対し、あらゆるリスクを見据えつつ、どんな災害が起ころうとも最悪な事態に陥ることが避けられるよう、強靱な行政機能や地域社会、地域経済を事前に作り上げていこうとするものであります。

本計画につきましては、今後、総合計画との整合性を持たせたものとして、同時の完成を目指してまいります。

**次に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について申し上げます。**

本年、急速に拡大している新型コロナウイルス感染症について、緊急経済対策が4月7日に閣議決定され、地方公共団体においても、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地域の実情に応じ、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設されたところであります。

この交付金は、対象事業について、各自治体の限度額の範囲内で国が全額を負担するものであり、本町においても、町内の事業者への支援金支給をはじめとして、全町民対象の商品券及びマスクの配布、役場、病院などの公共施設の感染予防物資の購入などの事業について、この交付金制度を活用して7月1日付けで第1次の交付申請を行い、7月8日付けで6,704万5千円の交付決定が北海道知事からあったところであります。

更に、現在、第2次の交付申請を準備しており、本定例会に関連する補正予算を提案いたしております。

**次に、地域連携の取組について申し上げます。**

渡島管内の市町長らが地域振興について話し合う、渡島地域づくり連携会議が8月19日に渡島総合振興局で開催され、当町では、寿都町が検討を進める原発から出る高レベル放射性廃棄物、核のゴミの最終処分場選定に向けた調査の応募について、地理的に当町は寿都町から約40キロメートルの近距離にあり、黒松内低地断層帯が存在すること、また、過去に地震により甚大な被害があった経験や、核のゴミが無害化に10万年以上必要であることなどからも安全性に重大な懸念があり、反対の立場であることを表明したところであります。

また、八雲町、今金町、せたな町と長万部町で構成する北渡島檜山4町地域連携推進協議会においても寿都町の核のゴミ問題について、風評被害や地域全体のイメージダウンなどの影響が計り知れないことから、

9月2日に協議会を構成する4町長全員で寿都町を訪問し、寿都町長に対して性急な文献調査の応募には反対すること、我々周辺自治体に説明と議論の場を設定し、情報提供と周辺自治体の意見も尊重するよう要望書を提出し、寿都町長と率直な意見交換をしてきたところでもあります。この問題については、北海道や国の動向にも注視し情報収集を行いながら、周辺自治体と共に議論してまいります。

### **次に、北海道新幹線関係について申し上げます。**

現在、町内では5つのトンネル工事が計画・施工中であり、9月1日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち延長1,730メートルが、豊津工区では2,060メートルのうち91メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は本坑5,570メートルのうち延長886メートルが掘削されております。

今後掘削を予定するものとして、豊野トンネル外1箇所他工事では、豊野トンネルについて今秋中の掘削開始を目標に準備が進められているところであり、国縫トンネルについても、現在施工計画を作成中と聞いております。

### **次に、老人福祉関係について申し上げます。**

地域敬老会については、昨年度までは地域の皆様にご尽力いただき開催していただいておりますが、本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域敬老会の開催の代替として記念品等を配布していただくことにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらっていただくよう各町内会等へお願いいたしました。

また、天然ガス事業所内の天然ガス供給及び温泉湯送設備の故障により、老人福祉センターの入浴施設が長期閉鎖となりました。これにより、9月21日の敬老の日に合わせ、老人福祉センターと町内にある公衆浴場の2箇所無料で開放を実施する予定でしたが、今年度につきましては、公衆浴場1箇所のみで実施することといたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、無料開放の期間を従来7日間としておりましたが、9月12日から21日までの10日間に延長して実施することといたしました。これに要する費用につきましては、本定例会に補正予算を提案いたしております。

### **次に、特別定額給付金給付事業について申し上げます。**

新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うための特別定額給付金につきましては、5月から給付を開始し、8月の申請期限までに2,916世帯、5,174人分の給付を完了しております。

### **次に、農業関係について申し上げます。**

家畜の主たる飼料作物の牧草は、8月15日現在の生育状況調査では、2番草収穫作業が降雨の影響により遅れており、サイレージ用とうもろこしの生育状況は平年並みに推移しております。

生乳生産量は1月から7月末日まで5,809トンを出荷し、前年に比べ19トンの増となり、乳代は5億2,990万円で、前年に比べ417万円の減となっております。

黒毛和牛の1月から7月までの販売頭数は145頭、販売金額は8,788万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は36頭の減となり、販売金額は3,427万円の減となりました。

### **次に、林業関係について申し上げます。**

町有林一般造林事業の下刈事業は、共立地区21ヘクタール、静狩地区17.05ヘクタール、平里地区3ヘクタールを8月4日に完了し、春植分の共立地区3ヘクタールについても、8月4日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津・豊野地区22.01ヘクタールを7月9日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、5月14日に着手しております。

### **次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。**

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどに加えて、特定外来生物であるアライグマの出没も見られる状況であり、鳥獣被害防止対策協議会と連携し、今後もヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活の安全を図ってまいります。

### **次に、漁業関係について申し上げます。**

漁業関係全体の1月から7月末までの水揚げ実績は約21億円と、前年同期と比較し、約1億円ほど増加しております。

このうち、ホタテ貝の生産量は11,694トンと、前年同期と比較し55.2%増加しておりますが、水揚げ実績では約20億円と、前年同期と比較し11%増にとどまっております。単価下落の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の消費低迷と、オホーツク海のホタテ漁が好調であることが考えられます。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、6月から投入した採苗機には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

昨年度より継続事業として実施する、国のアイヌ政策推進交付金を活用したホタテ貝の稚貝に関する調査研究事業は、本年7月17日付けで内閣府より交付決定を受けましたので、今年度も長万部漁業協同組合へ事業を委託し、今月下旬より稚貝の管外移入が開始される予定となっております。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港の保全工事は、昨年度に引き続き岸壁等の補修工事が施工開始されております。また、昨年度に引き続き、静狩漁港防砂堤新設工事も施工されており、同じく、北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業にて行う国縫漁港内船揚場等改良工事等についても、昨年度より引き続き施工が開始されております。

### **次に、商工観光関係について申し上げます。**

本町の商工観光全般においては、本年1月から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店や宿泊業を中心に大きな損害を受けました。

この影響に対する対策として、長万部商工会加盟事業者への商工会経由による補助金と、商工会非加盟事業者への受難事業者支援金を支給し、また、全町民へ配布した町内事業所で使用できるくらし応援商品券は、町民の約99%に支給されたところであります。

本町の商工観光振興の一環として実施されております、おしゃまんべ毛がにまつりの本年度の開催は中止となりましたが、代替措置として毛がに即売会を開催し、例年並みの2ハイ3,000円で、3店舗各300組を販売したところ、悪天候にも関わらず30分ほどで全ての店舗で完売いたしました。

即売会を実施したことにより、長万部の毛がにの人気を再確認できたと共に、来年以降の新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでの販売方法などを確認することができました。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所では、10月の法人化を目指す長万部観光協会が、本町を訪れる観光客のみなさんへの町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や販売店

の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに、特産品の販売を行っております。

また昨年から、長万部観光協会をはじめ、長万部温泉利用協同組合、新函館農業協同組合長万部支店など、町内主要団体を構成員とする長万部町観光地域づくり協議会を立ち上げ、国の農山漁村振興交付金を活用し、農泊を中心に通過型観光を滞在型観光へ転換を図る事業実施体制を構築するため、長万部町が事務局となり、インバウンドをはじめとする体験観光のプラン構築等を行っております。

合宿誘致事業は、長年にわたり長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおりますが、本年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての合宿がキャンセル・中止となっております。

### **次に、建設関係について申し上げます。**

建築事業では、長万部公園簡易入浴施設設置工事及び町営住宅あやめ団地非常灯外交換工事は、工期内に完成しております。また、町営住宅火災報知器更新工事につきましては、9月30日までの工期で実施中であります。

また、町営住宅中部団地について、階段に手すりが無く高齢者等には危険であることから、手すりを設置するための補正予算を本定例会に提案いたしております。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金を活用して実施する、長万部町橋りょう点検調査業務委託は、令和3年1月29日までの工期で、また、北海道縦貫自動車道を跨ぐ橋りょうの点検については、東日本高速道路株式会社北海道支社と協定を結び、令和3年2月28日までの工期で実施中であります。

橋りょう点検につきましては、5年に1度の点検が法令により義務化されており、今年度は町道橋78橋のうち、33橋の点検を実施してまいります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事及び管内道路排水等清掃業務は、11月20日の工期でそれぞれ実施しております。

その他、道路、側溝等の維持作業等については、計画的に実施しております。

住宅関係では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地移設に関して、現入居者の仮移転先住宅の修繕工事を行うための補正予算を、本定例会に提案いたしております。

公園関係では、5月30日より再開したあやめ公園パークゴルフ場は、マスクの着用や消毒など、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図ったうえで、多くの方々にご利用いただいております。

また、閉鎖中の長万部公園キャンプ場につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、再開準備を進めていたところではありますが、昨今の全国的な感染状況と、町外から多くの宿泊者の利用が予測されることにより、感染対策の徹底が困難であると判断し、更なる感染拡大防止のため、大変残念ではありますが、今年度の開設を取りやめることといたしました。

### **次に、公共下水道事業について申し上げます。**

終末処理場の薬品溶解槽部品交換外修繕工事は、令和3年1月20日までの工期で施工中であります。

### **次に、ガス事業について申し上げます。**

ガス本支管改良工事の大町8番地工区は、令和2年9月10日まで、大町18番地工区は、令和3年1月20日までの工期で施工中であります。

また、天然ガス事業所の天然ガス供給及び温泉湯送設備が7月末に故障し、復旧には多額の費用と工事期間を要するため、現在は見通しが立たない状況となっております。

つきましては、東京理科大学学生寮と老人福祉センターへの温泉湯送に大きな影響が出ていることから、今後の費用対効果等も考慮しつつ、温泉法や鉱山保安法等を所管する関係機関との調整協議を行い、温泉供給等の再開に向けた調査検討を進めてまいります。

### **次に、水道事業について申し上げます。**

浄水場施設機器設備交換修繕工事は、令和3年1月22日までの工期で施工中であります。

### **次に、病院事業について申し上げます。**

全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、本町においても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの感染の疑いのある患者様への対応として、予約制での発熱者外来の設置を検討しております。

また、インフルエンザワクチンの接種を10月中旬から行う予定としており、今後、町広報等でお知らせしてまいります。

病院内では、院内感染対策委員会において感染対策マニュアルを作成し、感染防止対策を徹底いたしております。

今後も、町民の皆様の健康維持と健全経営に向けての病院運営を行ってまいります。

### **次に、消防関係について申し上げます。**

今年8月末現在の火災件数は4件で、うち、建物火災が2件、野火が1件、車両火災が1件となっております。

救急件数は201件で、うち、急病が93件、交通事故が7件、一般負傷が29件、その他転院搬送などが72件で、ドクターヘリによる搬送が10件となっております。

8月1日に予定されておりました体験型イベントの、おしゃまんべ消防フェス2020、9月5日に予定されておりました長万部町消防訓練大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から共に中止としております。

終わりに、本定例会に提案した議件は、条例の制定や一部改正、規約の変更、各会計補正予算、各会計決算認定など25件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。